

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	社労士の指導を受けている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	社労士の指導を受けている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	社労士の指導を受けている									8.5 8.8								
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	管理団体、及び社労士の指導の元、就業規則を整備している。				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3							
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	定期的に朝礼等を活用し、就業規則の確認をしている							3			8							
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	生命保険会社の付帯サービスを活用し、周知を徹底し、いつでも活用できるように体制を整えている							3										
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性社員及び管理職10%向上を目指すと共に、経験豊富な高齢者の雇用は人材育成と社内体制の構築に繋げている					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	朝礼を活用し、研修を定期的実施している				4	5.5				8	9							
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	社労士の指導を受け対応している					5.5				8.5	10.2 10.3							
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	予定 チャレンジ宣言済。担当健康経営アドバイザーと連携し、進めていく							3			8							
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	法律に基づいた業者を選定している。グループ会社㈱カンエツ(廃棄物処理業)と連携し適切な指導を受けている。										11.6	12.4		14.1				
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	設備投資や購入の際、必ず比較を徹底している。20%減を目標とする								7.3				13					
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	同上。必要に応じて、省エネ診断を活用する								7.2 7.3			12.4	13.3					
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	販売メーカーによる安全基準書の発行、及び労働基準監督署等のセミナーや指導を受け適切に行っている。						3.9			6.3		11.6	12.4					
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	自治体及び経営者コミュニティに参加し、実態把握や意見交換を重ねている									6.6					15			
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	弊社の事業そのものが3Rの推進となっている												12.5	14.1				
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	製造工程での水資源の利用は限定的。効率の良い使用だけでなく、小水力発電事業を通じ、水資源の有効活用を進めている									6.4 6.6								

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	状況により取得を検討する。			3.9			6	7							12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	予定 社内と社会的背景を注視しながら、必要に応じて開示できる体制を整えていく														12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	自社にあった再生エネルギーがあるか模索し活用している							7.2								13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	エコプラスチック等の素材を取り入れている。															12.2	13	14	15			
22	公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	社労士の指導の元、朝礼で周知徹底をしている																				16	16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	社内コンプライアンスの周知徹底をしている																					16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	社労士の指導の元、取り組んでいる									8.2	9											
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社労士の指導の元、プライバシーポリシーの確認と周知を定期的に社内に発信している																					16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	取り扱いはない。販売メーカーと常に確認している。																					16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先に弊社の方針を伝え、防止に努めている					5				8		10					12	13	14	15	16	17
28	製品・ サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	ISO9000番に準じた対応をしている			3.9												12.4						
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	顧客の意見を尊重し、社内品質規格の定期的な見直しと確認を実施している													9								
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	グループ会社(関カンエツ(廃棄物処理業)と連携し、リサイクルまで含めた提案営業をしている。						6									12	13	14	15			
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	自然エネルギーの有効活用及び、小水力発電の開発・推進を進めている		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
32	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	自治体との意見交換や地元経営者コミュニティの交流を通して対応している					4									9		11	12			14	15		17			
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	必要なボランティアに関しては、有給扱いとして社員の参加を認めている					4												11				14	15		17		
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	新商品の小水力発電機器は地元サプライヤーにほぼ発注している。															8	9		11	12	13						
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	社内掲示、朝礼確認。、ホームページに掲載。														8	9									17		
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	就業規則等に明記し、定期的に社内共有と情報発信を実施している																									16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	顧客の要望や打ち合わせの段階で確認し、必要に応じて専門家による相談体制をとっている																									16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	常に企画の段階から対応している																									16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	予定 危機管理対策マニュアルを策定する																									16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	予定 専門家に相談し、明文化する																									16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	予定 BOP策定に向けて準備を進めている																	9		11		13	13.1			16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	常に税理士、専門家からの意見を聴取し時代にあった情報を得ている。															8	9									17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17											

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）